

PT・OT ビジュアルテキスト リハビリテーション 基礎評価学

第2版

contents

- 序～第2版の発行に寄せて～ 潮見泰藏, 下田信明
- 第1版の序 潮見泰藏, 下田信明

第1章 評価の基礎

潮見泰藏

- 1 リハビリテーション医療における評価 18
 - 1) 評価の意義 2) 評価の目的
- 2 評価の過程 19
 - 1) 評価過程の考え方 2) 評価の過程（臨床思考過程）
- 3 評価の対象 21
- 4 評価の構成要素 22
 - 1) 観察 2) 検査・測定 3) 統合と解釈 4) 問題点の抽出 5) 目標および介入計画の設定 6) 介入プログラムの立案 7) 記録

第2章 評価に必要な基本情報

- 1 評価の進め方 橋立博幸
 - 1 リハビリテーションにおける問題解決プロセス 29
 - 2 リハビリテーションの対象となる障害の範囲 31
 - 3 リハビリテーション評価の時期 33
 - 4 リハビリテーション評価計画の立て方 34
- 2 医療面接と情報収集 橋立博幸
 - 1 医療面接の目的と実施するタイミング 37
 - 2 医療面接の実施手順 38
 - 3 医療面接における注意点 39
 - 4 主訴とニーズ 40
 - 5 主な情報収集項目 42
 - 6 カルテの見方 43

7	医学的情報の取り方（疾患，画像所見，血液・尿検査，心電図）	44
8	社会的情報の取り方（家族関係）	47
3	画像所見の見方	橋立博幸
1	画像所見とは	53
	1) 画像所見の目的と留意点 2) リハビリテーション専門職種にとっての画像読影のポイント	
2	X線画像	54
	1) 胸部X線画像 2) 四肢X線画像	
3	CT画像	60
	1) 胸部CT画像 2) 頭部CT画像	
4	MRI画像	67
	1) 脊柱・脊髄MRI画像 2) 頭部MRI画像	

第3章 脳機能・精神関連の評価

1	意識障害・全身状態の評価	高見彰淑
A)	意識障害	
1	意識障害の診かた	79
2	意識レベルの判定	80
	1) 意識混濁（覚醒レベル）の定性的分類 2) 定量的評価法	
3	意識変容の評価指標	82
	1) せん妄評価 2) 錯乱，混乱などの評価指標	
B)	バイタルサイン	
1	循環器の検査	83
	1) 体温 2) 脈拍 3) 心電図の見方 4) 運動負荷試験 5) 血圧	
2	呼吸器の検査	91
	1) 自覚症状と他覚症状 2) 異常呼吸（代表例） 3) 換気障害の種類 4) 血液ガス検査／ガス検査 5) 肺機能測定 6) 視診 7) 触診 8) 打診 9) 聴診	
2	脳神経の検査	高見彰淑
1	脳神経（cranial nerve）とは	96
2	検査の方法	97
	1) I（嗅神経） 2) II（視神経） 3) III・IV・VI（動眼・滑車・外転神経） 4) V（三叉神経） 5) VII（顔面神経） 6) VIII〔聴（内耳）神経〕 7) IX・X（舌咽神経・迷走神経） 8) XI（副神経） 9) XII（舌下神経）	
3	高次脳機能（障害）の評価	小賀野 操
1	高次脳機能（障害）評価の流れとポイント	102
	1) 高次脳機能とは 2) 疾患・障害の特徴と高次脳機能障害 3) 高次脳機能評価の進め方	

2	簡易知的機能検査と高次脳機能障害スクリーニング検査	105
	1) 改訂長谷川式簡易知能評価スケール (HDS-R) 2) Mini-Mental State Examination (MMSE) 3) 高次脳機能障害のスクリーニング検査	
3	高次脳機能障害とその評価	105
	1) 半側無視と右半球症状 2) 失語症 3) 失行 4) 失認 5) 注意の障害 6) 記憶の障害 7) 前頭葉機能の障害	
4	気分 (うつ・不安)・思考の評価	河野 眞
1	気分 (うつ・不安)・思考を評価するにあたって	134
2	気分 (うつ・不安)	134
	1) 気分、うつ、不安とは 2) うつを観察するポイント 3) 不安を観察するポイント 4) うつ・不安の検査法	
3	思考	140
	1) 思考および思考の障害とは 2) 思考の障害を観察するポイント 3) 思考の障害の検査法	
4	精神障害における全般的機能の評価尺度	141
5	意欲・自己効力感の評価	下田信明
1	意欲の評価	143
	1) 意欲の障害とは 2) 観察の視点 3) 標準意欲評価法 (Clinical Assessment for Spontaneity : CAS) 4) Vitality Index 5) やる気スコア	
2	自己効力感の評価	151
	1) 自己効力感とは 2) 観察の視点 3) 一般性セルフ・エフィカシー (自己効力感) 尺度 (General Self-Efficacy Scale : GSES)	

第4章 全身機能の評価

1	栄養状態の評価	廣瀬 昇
1	栄養状態評価の意義	154
2	栄養補給	154
3	運動時の栄養	155
4	栄養状態の評価	156
	1) 身体計測 2) 血液生化学的検査	
2	フレイルの評価	潮見泰藏
1	フレイルになるメカニズム	160
2	フレイルの判定基準	160

第5章 身体部位別の検査

1	姿勢評価・形態測定	富田和秀
A)	姿勢評価	
1	ヒトの抗重力姿勢の特徴	162

2	異常姿勢のタイプと原因	163
3	姿勢評価の意義	164
4	姿勢評価の手順	164
	1) 体格・姿勢タイプ 2) 立位姿勢（正面，側面，後面） 3) 立位前屈位（正面，側面，後面） 4) 座位姿勢（正面，側面，後面） 5) 背臥位 6) 腹臥位 7) 下肢長（棘果長，転子果長）	

B) 形態測定

1	身長，体重の測定と体格指数	167
	1) 測定の進め方 2) 体格指数と判定基準	
2	四肢長および周径の測定	168
	1) 意義・目的，注意事項 2) 測定の進め方 3) 四肢長の測定 4) 周径の測定	
3	臨床における四肢長・周径測定のポイント	172
	1) 観察から脚長差が疑われる場合 2) 筋萎縮が考えられる場合 3) 筋肥大の効果を判定する場合	

2 感覚検査 小賀野 操

1	感覚の概要	177
	1) 感覚とは 2) 感覚の分類 3) 体性感覚の役割	
2	感覚障害の基礎	178
	1) 感覚の伝導路 2) デルマトームと末梢神経皮膚支配 3) 病変部位による感覚障害のパターン	
3	感覚検査	184
	1) 感覚検査の目的 2) 検査にあたっての注意点 3) 結果の記録 4) 検査前の準備 5) 中枢神経疾患・障害における感覚検査の実際 6) 末梢神経損傷における手部の感覚検査の実際	

3 痛みの評価 富田和秀

1	痛みとは	195
	1) 痛みの定義 2) 痛みの分類と病態生理，臨床症状	
2	運動器に関連した疼痛評価の進め方	195
	1) 問診・観察 2) 運動検査 3) 触診検査	
3	痛みの臨床的評価尺度	198
	1) 主観的な痛み強度の評価尺度 2) 痛みの性質の評価尺度 3) 痛みの行動学的評価尺度 4) 痛みの心理学的評価ならびに QOL の評価	

4 反射検査 藤平保茂

1	反射とは	203
	1) 反射の定義 2) 反射弓 3) 反射の種類	
2	深部腱反射	204
	1) 深部腱反射の経路 2) 深部腱反射検査の実施上の注意事項 3) 深部腱反射の増強法 4) ハンマーの選び方 5) 深部腱反射の実際 6) 判定法および記録の記載方法 7) 検査結果の解釈	
3	病的反射	209
	1) 病的反射の意義 2) 病的反射の実際 3) 検査結果の解釈	
4	表在反射	212
	1) 腹壁反射 2) 検査結果の解釈	

5 筋緊張検査	高見彰淑
1 筋緊張とは	213
2 手技	213
3 判定のしかた	215
1) 痙縮 2) 固縮 (筋強剛, 硬直) 3) 筋緊張低下 4) その他 5) 痙縮の評価スケール	
6 関節可動域 (ROM) 検査	橋立博幸
1 正常な関節可動域と異常な関節可動域	218
2 関節可動域における最終域感	220
3 関節可動域検査の手順	220
4 関節可動域検査 (頸部)	223
5 関節可動域検査 (胸腰部)	224
6 関節可動域検査 (肩甲帯)	226
7 関節可動域検査 (肩)	227
8 関節可動域検査 (肘・前腕)	229
9 関節可動域検査 (手)	230
10 関節可動域検査 (手指)	231
11 関節可動域検査 (股)	233
12 関節可動域検査 (膝)	234
13 関節可動域検査 (足)	235
14 関節可動域検査の結果の解釈	236
付録表 関節可動域表示ならびに測定法	237
7 徒手筋力検査 (MMT)	伊藤俊一
1 徒手筋力検査 (Manual Muscle Testing : MMT) とは	242
1) はじめに 2) MMT の意義 3) MMT の目的	
2 判定基準	243
3 テスト手技	244
4 信頼性	244
1) 検者内信頼性 (Intra-Rater Reliability) 2) 検者間信頼性 (Inter-Rater Reliability)	
5 代償運動	245
6 固定と抵抗	250
7 具体的手順と注意点	250
8 その他の客観的筋力評価法	251
1) 等速性筋力測定機器 2) 徒手筋力計 (Hand Held Dynamometer : HHD)	
9 おわりに	254

付録図 MMT の実際	255
-------------	-----

1) 頭部・頸部 2) 体幹 3) 上肢 4) 股関節 5) 膝関節 6) 足関節・足部 7) 骨盤

8 姿勢バランス検査 橋立博幸

1 姿勢バランスの概要	279
-------------	-----

1) 姿勢バランス 2) 姿勢反射

2 座位バランス検査	288
------------	-----

3 立位バランス検査	291
------------	-----

4 パフォーマンステスト	293
--------------	-----

1) 外乱負荷応答の姿勢バランス検査 2) 支持基底面内での随意運動の姿勢バランス検査
3) 支持基底面内外での随意運動の姿勢バランス検査 4) 総合的な姿勢バランス検査

5 姿勢バランス検査の留意点	299
----------------	-----

付録表	300
-----	-----

1) Balance Evaluation Systems Test (BESTest) 2) Mini-Balance Evaluation Systems Test (Mini-BESTest) 3) Brief-Balance Evaluation Systems Test (Brief-BESTest)

9 協調性検査 酒井桂太

1 協調運動障害	308
----------	-----

1) 協調運動とは 2) 協調運動障害はどの機能の障害によって生じるのか 3) 運動失調とは
4) 協調運動障害の主な症状 5) 運動失調症の分類

2 協調性検査の実際	310
------------	-----

1) 運動失調検査 2) その他の検査 3) 検査結果の記録 4) 協調性検査実施上の注意

10 持久力の評価 酒井桂太

1 体力とは	319
--------	-----

1) 定義 2) 構成要素 3) 体力測定 4) 持久力とは

2 運動耐容能	320
---------	-----

1) 運動耐容能とは 2) エネルギー供給機構 3) 無酸素系エネルギー供給機構 4) 有酸素系エネルギー供給機構

3 筋持久力の評価	322
-----------	-----

1) 筋持久力とは 2) 筋持久力の測定

4 全身持久力の評価	323
------------	-----

1) 運動負荷試験の目的 2) 運動負荷試験の指標 3) METsとは 4) 運動負荷試験の種類
5) 運動負荷試験に使用する機器 6) 運動負荷モード 7) 運動負荷試験の手順 8) 嫌気性代謝閾値とは 9) 平地歩行試験

11 上肢機能検査 下田信明

1 上肢機能における観察の視点	333
-----------------	-----

1) 上肢機能とは 2) 観察の視点

2 上肢機能検査	334
----------	-----

1) 簡易上肢機能検査 (Simple Test for Evaluating Hand Function : STEF) 2) Box and Block Test 3) Action Research Arm Test (ARAT) 4) パーデュー・ペグボード・テスト (Purdue Pegboard Test) 5) ナインホールペグテスト (The Nine Hole Peg Test) 6) 日本語版 Wolf Motor Function Test (WMFT 日本語版)

3	脳卒中を対象とした日常生活における使用状況の主観的評価	338
	1) 日本語版 Motor Activity Log (日本語版 MAL) 2) Jikei Assessment Scale for Motor Impairment in Daily Living (JASMID)	

12 体幹機能評価 潮見泰蔵

1	体幹機能とは	342
2	体幹機能の評価方法	342
	1) 体幹機能の評価 2) 体幹機能評価の留意点	
3	代表的な体幹機能評価指標	344
	1) 体幹制御検査 (Trunk Control Test : TCT) 2) 臨床的体幹機能検査 (Functional Assessment for Control of Trunk : FACT) 3) 体幹機能障害尺度 (Trunk Impairment Scale : TIS)	

第6章 活動能力の評価

1 日常生活活動評価 丹羽 敦

1	日常生活活動 (ADL) とは	348
2	FIM (機能的自立度評価法)	348
	1) 評価項目と特徴 2) 採点基準 3) 採点範囲とポイント	
3	Barthel Index	358
	1) 特徴 2) 評価項目と尺度基準	
4	観察に基づく評価 ～身の回り動作 (食事・トイレ・更衣・入浴)	361
	1) 動作能力の判定基準 2) 身の回り動作 (食事・トイレ・更衣・入浴) 別の観察に基づく評価内容	
5	Lawton の IADL スケール	371
6	老研式活動能力指標	373
7	Frenchay 拡大 ADL 尺度 (日本語版)	374

2 QOL 評価 丹羽 敦

1	QOL とは	376
2	SF-36 (MOS short-form36)	376
	1) 開発者および開発年度 2) 特徴 3) 構成	
3	EuroQol (EQ-5D)	377
	1) 開発者および開発年度 2) 特徴 3) 構成	
4	HUI	379
	1) 開発者および開発年度 2) 特徴 3) 構成	
5	改訂 PGC モラル・スケール	379
	1) 開発者および開発年度 2) 特徴 3) 構成	
6	主観的健康感の VAS	381

3 観察に基づく動作分析 藤澤祐基

1	動作分析・動作観察の基本的な考え方	383
	1) はじめに 2) 動作分析の目的	

2	臨床で求められる動作分析とは	384
	1) 動作の自立度, 手段, 動作環境の判定 2) ではなぜその自立度 (実用性) なのか考える 3) 観察結果を運動学用語で言い表す	
3	分析の種類	385
4	起居・移動の動作分析 (正常な動作と頻度の高い問題点)	386
	1) 姿勢観察 2) 寝返り 3) 起き上がり 4) 立ち上がり 5) 歩行	
5	機能的動作獲得に向けた動作分析	394
4	運動発達の評価	河野 真
1	運動発達を評価するにあたって	396
	1) 運動発達と全体の発達 2) Key Months 3) 運動発達の正常範囲 4) 情報収集 5) 発達全体の評価に用いられる検査	
2	運動発達の評価	399
	1) 反射・反応 2) 姿勢・粗大運動 3) 微細運動	
3	生活機能の評価	405

第7章 内臓関連の評価

1	呼吸機能評価	廣瀬 昇
1	呼吸機能の概要	407
2	呼吸機能の主な評価項目	407
	1) 肺機能検査 (スパイロメトリー) 2) 肺気量分画 (スパイログラム) 3) 換気障害分類 4) フローボリューム曲線 5) 呼吸筋力 6) 呼吸困難感 7) フィジカルアセスメント (視診, 触診, 打診, 聴診)	
2	循環機能評価	廣瀬 昇
1	循環機能の概要	415
2	循環機能の主な評価項目	415
	1) 現病歴, 前駆症状, 発症時の状況の把握 2) 12誘導心電図 3) 胸部X線画像 4) 血液検査 (生化学的検査) 5) 心超音波検査 (心エコー) 6) 冠動脈造影検査 7) 運動耐容能 8) その他の評価	
3	代謝機能評価	廣瀬 昇
1	代謝機能の概要	423
2	代謝機能の主な評価項目	424
	1) 身体所見と自覚症状 2) 肥満度 3) メタボリックシンドローム 4) エネルギー消費量 5) 血糖 6) インスリン分泌能 7) インスリン抵抗性 (HOMA-IR)	
4	摂食・嚥下機能評価	下田信明
1	摂食・嚥下障害とは	428
	1) 摂食・嚥下の過程 2) 摂食・嚥下障害 3) 摂食・嚥下障害重症度分類	
2	摂食・嚥下障害の評価	429
	1) 観察の視点 2) 質問紙 3) 改訂水飲みテスト・食物テスト 4) 嚥下造影検査 (Video-fluorography: VF)	

第8章 症例に基づく評価の進め方

潮見泰藏, 下田信明

症例 1) 脳卒中患者	432
1 理学療法評価	433
1) 心身機能・身体構造 2) 活動 3) 参加 4) 個人因子 5) 環境因子 6) 問題点 7) 理学療法方針 8) 目標設定 9) 理学療法プログラム (3単位)	
2 作業療法評価	437
1) 心身機能・身体構造 2) 活動 3) 参加 4) 問題点 5) 作業療法方針 6) 目標設定 7) 作業療法プログラム (3単位)	
3 プログラム実施時の留意点	440
症例 2) 大腿骨頸部骨折 (人工骨頭置換術後) 患者	440
1 理学療法評価	441
1) 心身機能・身体構造 2) 活動・参加 3) 問題点 4) 理学療法における介入方針 5) 目標設定 6) 理学療法プログラム (2単位)	
2 プログラム実施時の留意点	444

巻末付録 各種代表的疾患の主な障害と評価項目 ならびに疾患特異的評価指標

潮見泰藏, 下田信明

1 脳卒中 (脳血管障害)	446
2 パーキンソン病	456
3 脊髄小脳変性症	457
4 脊髄損傷 (SCI)	459
5 多発性硬化症 (MS)	463
6 筋萎縮性側索硬化症	465
7 関節リウマチ	468
8 変形性股関節症	469
9 大腿骨頸部骨折	471
10 切断	472
11 末梢神経損傷	474
12 統合失調症	474
13 認知症	476
リハビリテーション計画書	478